

## 日本ミュージアム・マネージメント学会

### 平成 22 年度 第 1 回基礎部門研究部会「研究発表会」

#### 1. 開催の趣旨

22 年度の年間テーマ 「ミュージアム・リテラシー～地域と協働する博物館～」

新しい博物館法や学芸員養成課程における科目数や内容の変化を視野に入れて、昨年度に引き続きミュージアム・リテラシーの研究を深めます。昨年度の学校教育との関係性におけるミュージアム・リテラシーの考察の成果をより広い視野で捉え、生涯学習の観点から市民の地域参画力を高め、地域を巻き込んだミュージアム・リテラシーについて議論します。

#### 2. 第 1 回研究会テーマ

「博物館側から見たミュージアム・リテラシー～地域における博物館～」

地域連携を事例に、博物館学芸員のミュージアム・リテラシーについて考察します。

#### 3. 主催

日本ミュージアム・マネージメント学会基礎部門研究部会  
大妻女子大学生生活科学資料館（共催）

#### 4. 開催日時・場所

日時 平成 22 年 8 月 21 日（土）13：30～16：40

場所 大妻女子大学生生活科学資料館 研修室

#### 5. 発表内容（発表 15 分・質疑応答 5 分）

\*時間・内容は変更されることがありますのでご了承ください。

平成 22 年度 第 1 回 J MMA 基礎部門研究部会研究発表会			
	発表テーマ	発表者	発表時間
1	開催の趣旨：「ミュージアム・リテラシー」をどうとらえるか	小川義和（国立科学博物館）	13:30～ 13:50
2	報告：上野の山の連携状況について	亀井 修（国立科学博物館）	13:50～ 14:10
3	報告：地域と協働するためのミュージアム・リテラシーに関する考察	黒岩啓子（Learning Innovation Network）	14:10～ 14:30
4	提言：ミュージアム・リテラシーを涵養する地域連携を主眼としたミュージアム・マネジメントの課題	奥本素子（総合研究大学院大学）、嘉村哲郎（東京藝術大学）、平井宏典（共栄大学）	14:30～ 14:50

5	休憩		14:50～ 15:20
6	ワークショップ：ミュージアム・リテラシーと地域連携に関するマネジメント要素の導出	奥本素子, 嘉村哲郎, 平井宏典	15:20～ 16:00
7	ディスカッション：地域と連携したミュージアム・リテラシーとは	高安礼士(科学博物館後援会)	16:00～ 16:40

## 6. 大妻女子大学生生活科学資料館の案内

<http://www.museum.otsuma.ac.jp/raikan.html>

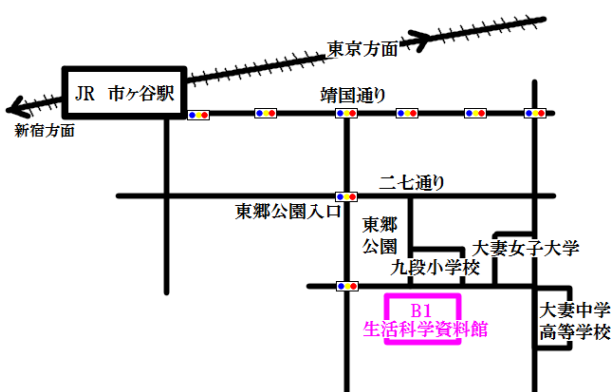
場所：大妻女子大学図書館地下1階

アクセス

JR総武線「市ヶ谷」または「飯田橋」徒歩10分

地下鉄半蔵門線「半蔵門」「九段下」徒歩10分

地下鉄南北線「市ヶ谷」徒歩10分



## 7. お申し込み先 (定員 30 名 : 申し込み先着順)

日本ミュージアム・マネジメント学会事務局

〒136-0082 東京都江東区新木場2-2-1

電話・ファックス 03-3521-2932

URL/ <http://www.jmma-net.jp/index.html>

e-mail/ [kanri@jmma-net.jp](mailto:kanri@jmma-net.jp)

お申込フォーム

希望研究会名

お名前

御所属

御連絡先 (TEL 又は e-mail 等)

## 8. 研究発表会年間計画

基礎部門研究部会では、22年度「ミュージアム・リテラシー～地域と協働する博物館～」として以下を実施予定。

### (1) 第1回研究会

テーマ：博物館側から見たミュージアム・リテラシー～地域における博物館～

日時：平成22年 8月21日 (土)

### (2) 第2回研究会

テーマ：利用者側から見たミュージアム・リテラシー～ 地域のための博物館～ (仮)

日時：平成22年 秋

想定発表者：指定討論者とテーマに沿った公募発表者 (事務局へお申し込みください)

### (3) 第3回研究発表会

テーマ：博物館と利用者の接点としてのミュージアム・リテラシー～地域と協働する博物館を目指して～ (仮)

日時 平成23年 冬

想定発表者：指定討論者とテーマに沿った公募発表者 (事務局へお申し込みください)